



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ノブレス鶴見花月総持寺	階数	地上11F
建設地	横浜市鶴見区生麦四丁目806番1、806番3	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	172 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年3月3日
敷地面積	775 m ²	作成者	株式会社 多田建築研究所一級建築士事務所 多田 正範
建築面積	335 m ²	確認日	2023年3月3日
延床面積	2,838 m ²	確認者	株式会社 多田建築研究所一級建築士事務所 多田 正範
		外観/パース等	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 81%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
免振装置を導入し高い安全性を確保し、二重サッシの採用で遮音性に優れた快適な室内環境を整える。街並みに配慮し、調和のとれた色彩とする。		
Q1 室内環境 住居の開口部は二重を採用し、遮音性能T-4レベルとする。 F☆☆☆☆の内装材を全面に使用している。	Q2 サービス性能 免振装置を導入し安全性を高めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に適切に緑化を施し、都市緑地法に基づいた緑地を整備する。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示「断熱等性能等級4」を超える水準の性能を確保している。	LR2 資源・マテリアル 発砲断熱材はノンフロン製品を使用するよう努めた。節水型便器の採用	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を配置し交通負荷抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

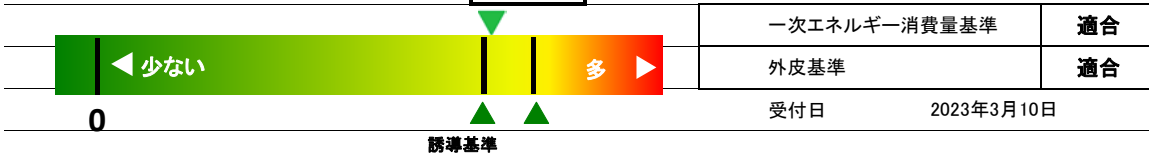
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **ノブレス鶴見花月総持寺**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **9** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示 断熱等性能等級 等級4を超える水準

③BEI0.91

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の内装材を全面に使用している。

⑦防犯カメラ、オートロックの採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮免振装置の設置

⑯日本住宅性能表示 劣化対策等級3相当

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
ノブレス鶴見花月総持寺

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-			2.9
Q1 室内環境					0.40					3.9
1 音環境				2.0	0.15	3.3	1.00			3.1
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				1.0	0.50	3.6	0.50			-
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				1.4	0.35	5.0	1.00			4.6
2.1 室温制御				1.3	0.50	5.0	1.00			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.63	-	-			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	2.0	0.38	5.0	1.00			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				2.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				2.4	0.25	4.0	1.00			3.8
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.0	0.50			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	5.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				1.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			-
4 空気環境				3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.7
1 機能性				3.0	0.40	2.6	1.00			2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震				3.4	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	5.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.5	1.00			2.5
3.1 空間のゆとり				-	-	2.0	0.50			-
1 階高のゆとり				-	-	2.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

プレス観見花月総持寺

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	-	2.0
1		生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
2		まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	2.0	0.40	-	-	-	-	2.0
3		地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	2.0	0.50	-	-	-	-	-
	3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	2.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	-	3.8
1		建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	5.0	0.20	-	-	-	-	5.0
2		自然エネルギー利用	省エネルギー性能	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3		設備システムの高効率化	省エネルギー性能	3.9	0.50	-	-	-	-	3.9
4		効率的運用		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	-	-	-	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	-	-	-	-	-	-	-
		集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	-	3.1
1		水資源保護		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
	1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-	-	-
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	-
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	-	-	-
		2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-
2		非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	-	-	3.0
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	-
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	-
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	-	-	-
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	-
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-	-	-
		1	消火剤	-	-	-	-	-	-	-
		2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	-	-	-
		3	冷媒	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	-	3.1
1		地球温暖化への配慮		3.7	0.33	-	-	-	-	3.7
2		地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	-	-	2.5
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	-
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-	-	-
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	-	-	-
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	-	-	-
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	-	-
		3	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	-	-	-
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	-	-
3		周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	-	-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	-
		1	騒音	3.0	1.00	-	-	-	-	-
		2	振動	-	-	-	-	-	-	-
		3	悪臭	-	-	-	-	-	-	-
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	-
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-	-	-
		2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	-	-	-
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	-	-	-
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-	-	-
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	-	-	-
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
		知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ							
<住宅用途>										
健康と安心										
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	6	健康対策	3.0	-	-	-	-
	2	適切な換気計画	健康・安心	6	健康対策	3.0	-	-	-	-
	3	結露・カビ対策	健康・安心	6	健康対策	3.0	-	-	-	-
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	7	防犯対策	3.0	-	-	-	-